

錦ヶ丘中

地元と連携 新たな伝統に



これがイチオシ

「校訓」を考え心を育む

錦ヶ丘中学校では、毎週水曜日が錦オール・錦タイムという日になっています。その日は、服装が自由で、私服で登校する人もいます。基本的に4時間授業で、4時間目は道徳に設定されており、校訓の「共に生きる」について考え、心を育てています。

午後は自由に使えるので、学年ごとの活動や勉強もできます。一番の楽しみは、部活動に時間をたくさん使うことで、どの部活動も活発です。水曜日の午後、生徒の元気で大きな声が学校中に響きます。

学校名 仙台市立錦ヶ丘中学校
所在地 仙台市青葉区錦ヶ丘1の1の7
創立 2019年
電話 022(302)5516
校長 久世 達也
生徒 619人

また、特徴的だったのは、この桜花祭の企画・実行委員は、「企画班」「技術班」「広報班」「総務班」の4班で編成し、各班の班長が中心となつて、全校生徒が楽しめるようなステージの企画や壁面の作製を進めました。

また、特徴的だったのは、この桜花祭の企画・実行委員は、「企画班」「技術班」「広報班」「総務班」の4班で編成し、各班の班長が中心となつて、全校生徒が楽しめるようなステージの企画や壁面の作製を進めました。



会場装飾のアートパルーンを地域の先生と作る実行委員

編集委員 和久田彩世 (3年) 高瀬祥真 (2年)
指導教員 坂本梓

全員で楽しむ「桜花祭」

錦ヶ丘中学校では、文化祭である「桜花祭」を9月に開催しました。この行事の目標は「誰一人残さず、錦中生全員が楽しめる桜花祭」でした。全校生徒が主体的に参加できるように、実行委員が企画をしました。

錦ヶ丘中学校では、文化祭である「桜花祭」を9月に開催しました。この行事の目標は「誰一人残さず、錦中生全員が楽しめる桜花祭」でした。全校生徒が主体的に参加できるように、実行委員が企画をしました。

わが校わがまち スクール通信



次回は 大谷地小 (石巻市) 中野中 (仙台市)

テーマを設定し防災学習

小原地区は2019年の東日本台風で、市街地から学校に続く国道が土砂崩れで寸断されるなど大被害を受けました。このような経験から、万が一の場合に備え、年4回の防災学習に取り組みんでいます。毎回テーマを設定し、併設されている小原中学校の生徒や先生方と一緒に取り組んでいます。今回は避難所運営をテーマに、避難者を受け入れるための受付をつくり、パーティションとなる簡易テントと段ボールベッドを組み立てました。

非常時は地域の避難所

小原地区は2019年の東日本台風で、市街地から学校に続く国道が土砂崩れで寸断されるなど大被害を受けました。このような経験から、万が一の場合に備え、年4回の防災学習に取り組みんでいます。毎回テーマを設定し、併設されている小原中学校の生徒や先生方と一緒に取り組んでいます。今回は避難所運営をテーマに、避難者を受け入れるための受付をつくり、パーティションとなる簡易テントと段ボールベッドを組み立てました。



避難所運営をテーマにした防災学習に臨む児童たち

編集委員 庄子学史 (6年) 川股涼音、佐久間祐希、佐久間帆高 (5年)
指導教員 及川優香

小原小



これがイチオシ

天然記念物の「材木岩」

小原地区には「小原の材木岩」という天然記念物があります。高さ100m、長さ200mほどの範囲に、五角形や六角形など、さまざまな材木を立て並べたように見える岩が連なっているため「材木岩」と呼ばれています。

毎年秋には、材木岩公園で行われる「検断屋敷祭り」で、小原小中学校の児童・生徒が運営や和太鼓の演奏を行い、訪れた方に楽しんでもらっています。地域の宝であるこの素晴らしい環境を大切にしながら、多くの方に小原の良さを知ってもらいたいです。

学校名 白石市立小原小学校
所在地 白石市小原伊勢原道上1
創立 1947年
電話 0224(29)2026
校長 嶋原 薫
児童 11人